

特定非営利活動法人

大気イオン地震予測研究会 e-PISCO

平成 21 年度通常総会 議案書

開催日 平成 21 年 5 月 30 日

会 場 神奈川工科大学 K2 号棟 4 階 1405 室

平成 21 年度通常総会次第

1. 開会のことば（理事）

2. 理事長あいさつ

3. 議長の選出（定款第 26 条）

定款第 26 条 総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選出する。

4. 定足数の確認（定款第 27 条）

定款第 27 条 総会は、正会員総数の 2 分の 1 以上の出席がなければ開会することができない。

5. 議事録署名人の任命（定款第 30 条第 2 項）

定款第 30 条第 2 項 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人 2 人以上が署名、押印しなければならない。

6. 書記の任命

7. 議事

第 1 号議案 平成 20 年度事業報告、収支報告、監査報告の承認を求める件

第 2 号議案 平成 21 年度事業計画案ならびに収支予算案の承認を求める件

第 3 号議案 役員改選の件

第 4 号議案 定款改正の件

第 5 号議案 会費改正の件

第 6 号議案 その他

8. 書記および議長の解任

9. 閉会のことば（理事）

第 1 号議案 平成 20 年度事業報告、収支報告、監査報告の承認を求める件

定款第 23 条第 5 号にもとづき、平成 20 年度事業報告、収支報告ならびに監査報告の承認を求めます。

事 業 報 告 書

(第 5 期)

自 平成 20 年 4 月 1 日
至 平成 21 年 3 月 31 日

特・大気イオン地震予測研究会
兵庫県川西市緑台 5-1-43

平成 20 年度事業報告書

平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 大気イオン地震予測研究会 e-PISCO

1 事業の成果

本法人の事業のうち、成立 5 年目である本年度では、前年度に引き続き大気イオン濃度測定器の性能強化を行った。特に本年度は、成立以来、独自開発・改良を重ねてきた大気イオン濃度測定器に代えて、コムシステム株式会社製の新たな測定器を既設測定点に展開した。大気イオン濃度測定器を全国 10 か所(年度途中で 2 か所廃止)に稼働させ、オンラインデータ収集を行い、大気イオンデータでその発生源が推定可能かどうかを検討している。その他、研究会会員には測定情報のオンライン配信を行っている。

また、本法人の目的を達成するため、関心を示す学会・研究会・市民サークル等で講演活動を行ったほか、本法人の活動の啓発に資するマスメディアへの取材協力は積極的に実施した。

なお、役員借入金である平成 20 年度末の未処理損失金 6,824 千余円については、当該役員からの寄付の申し出を受け、未処理損失金は解消した。また、年度途中から事務局職員を廃し、賃料の必要な事務所を閉鎖したことにより財務状況の健全化を図った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日 時	実施 場 所	従事者の 人 数	受益対象者 の範囲及び 人 数	支出額 (千円)
大気イオン濃度測定器研究開発事業	環境大気中のイオン濃度を正確に測定でき、なおかつ一括送信できるシステムを開発、改良	随時	東京都昭島市松原町、岡山理科大学	8名	大気イオン地震予測研究に関心のある者不特定多数	59
全国的な大気イオン濃度測定事業	大気イオン濃度測定器を地震発生が予想される地域に新たに設置・測定	随時	岡山理科大学理学部および工学部、徳島大学工学部、兵庫県川西市緑台、兵庫県南あわじ市阿万西町、京都府木津川市兜台、長野県松本市白板、静岡県沼津市宮本、神奈川県工科大学工学部、千葉大学伊予ヶ岳地殻変動・地球電磁気観測所	30名	大気イオン地震予測研究に関心があり協力してくれる者不特定多数	29

測定データのオンライン収集・処理・配信事業	各地の大気イオン測定器データをインターネットで収集し、その測定データと過去のデータから発生源が推定可能であるかの検討およびインターネット上での公開	随時	大阪市西区江戸堀1丁目4-21日宝肥後橋中央ビル304号	6名	大気イオン地震予測研究会 e-PISCOの会員およびデータ提供を希望する者不特定多数	470
研究成果の普及啓発事業(大気イオン地震予測研究会 e-PISCO講演会)	大気イオンと地震との関係についてこれまでの研究成果を発表すると共に、大気イオン測定の重要性を述べ、測定器の普及に努めた。また、協賛企業と共同で震災対策技術展に出展	随時	全国各地	10名	大気イオン地震予測研究会 e-PISCO講演参加者	0
研究成果の普及啓発事業(大気イオン地震予測研究会 e-PISCO出版物)	大気イオンと地震前兆現象と地震との関係についてこれまでの成果を著書にした。	随時	大阪市西区江戸堀1丁目4-21日宝肥後橋中央ビル304号	1名	出版物(約1万部発行予定)の読者不特定多数	0

3 参考事項

(1) 理事会

本年度、理事会を3度開催(20年5月31日@大阪淀川区・ドリーイン新大阪センシティ2号館、20年6月29日@大阪中央区・ハートンホテル南船場、20年10月4日@大阪淀川区・サムティフェイム新大阪)し、本法人の運営について活発な議論を行った。また、理事会は電子メールによるメーリングリストを用いて、活発な議論を行った。平成20年度は388通のメールをやり取りした。なお、20年11月5日から、幅広い意見を聴取するために、全国の測定点管理者にも当該メーリングリストに加わっていただいている。

(2) 会員の現況

本年度末の会員数は次のとおりである。

○会員種別

会員種別	正会員	正会員(学生・65歳以上)	賛助会員	合計
平成20年度末会員数	146	77	7	230
平成19年度末会員数	150	79	7	236
平成18年度末会員数	146	86	7	238
平成17年度末会員数	125	78	7	210
平成16年度末会員数	85	63	3	151

○都道府県別

北海道	2	青森	0	岩手	0	宮城	2	秋田	0
山形	0	福島	0	茨城	3	栃木	0	群馬	1
埼玉	5	千葉	9	東京	22	神奈川	12	新潟	0
富山	0	石川	0	福井	1	山梨	0	長野	5
岐阜	1	静岡	7	愛知	16	三重	2	滋賀	1
京都	8	大阪	50	兵庫	46	奈良	3	和歌山	1
鳥取	1	島根	2	岡山	10	広島	2	山口	1
徳島	9	香川	0	愛媛	2	高知	2	福岡	3
佐賀	0	長崎	0	熊本	1	大分	0	宮崎	0
鹿児島	0	沖縄	0						

(3) 活動記録

月日	活動記録
05/15	インターネットニュース「J-CAST ニュース」の記事「『2ちゃんねる』で中国大地震予言?? 『憶測』 乱れ飛びネット大揺れ」で弘原海理事長が大気イオン法について解説
05/15	FM ラジオ J-WAVE の番組「JAM THE WORLD」のコーナー「CUTTING EDGE」に弘原海理事長が生出演。中国四川省での大地震に関連して「カエルは地震予知できる？」のテーマで解説
05/16	茨城県沖の地震(M7.0) 前の大気イオン濃度変化についてウェブサイトで解説
05/18	産経新聞の記事「四川大地震 地震予知? ヒキガエル一斉移動」で弘原海理事長が1995年の兵庫県南部地震や99年の台湾中部地震の事例を引用しながら宏観異常現象について解説
05/20	夕刊フジの記事「関東で大地震前触れ? 四川で発生直後不気味データ観測 大気イオンの異常な急上昇を検知」で弘原海理事長が厚木測定点での大気イオン濃度急変について解説
05/29	「週刊アサヒ芸能」(徳間書店)の記事「『中国四川大地震は東京でも起こる』驚愕予測」で弘原海理事長が首都圏での大地震の可能性について解説
05/31	第5回理事会および平成20年度通常総会を開催(大阪淀川区・ドーミーイン新大阪センシティ2号館)
05/31	「週刊現代」(講談社)の記事「緊急大特集 大陸の天災人災 総力ワイド 未曾有の惨事 中国・四川大地震 中国政府がひた隠す驚愕の真相 胡錦濤国家主席は大地震を訪日前に知っていた!」で弘原海理事長が中国の地震予知について解説
06/09	加古川市消防本部、加古川市保安防火協会主催の「平成20年度加古川市危険物安全大会」で弘原海理事長が講演(兵庫加古川市・加古川市民会館)。演題は「緊急地震速報と地震予測」
06/16	インターネットニュース「J-CAST ニュース」の記事「岩手・宮城内陸地震を予測? 『大気イオン濃度』とは何か」で弘原海理事長が大気イオン法について解説
06/17	夕刊フジの記事「いつ起きても不思議じゃない首都“直下型”大震災」で弘原海理事長が岩手・宮城内陸地震に関連して大気イオン地震予知法について解説
06/29	第6回理事会開催(大阪中央区・ハートンホテル南船場)
07/06	平成20年岩手・宮城内陸地震(M7.2)前の大気イオン濃度変化についてウェブサイトで解説
08/01	新機種測定器 COM-3700 の測定グラフをウェブサイトで公開開始(兵庫・川西、神奈川・厚木両測定点)
08/04	健康まなび屋主催の「日本に警告! 地震・新型インフルエンザ緊急対策セミナー」で弘原海理事長が講演(東京豊島区・小池ビル)。演題は「ここまで来た地震予知! 一般の人がこ

	れだけは知っておきたい防災対策」
08/12	岩手県沿岸北部の地震(M6.8)前の大気イオン濃度変化についてウェブサイトで解説
09/01	「自主防災」(2008年9・10月号、東京防災指導協会会報)に弘原海理事長が寄稿。題名は「市民参加型の地震予知法」
	岡山・理大1測定点および岡山・理大2測定点を廃止
09/09	堺女性大学の一般教養講座で弘原海理事長が講演(堺堺区・堺市立女性センター)。演題は「地震列島ニッポンの今と近畿のこれから」
09/27	厚木市の生涯学習講座「輝き厚木塾」で矢田理事が講演(神奈川厚木市・あつぎパートナーセンター)。演題は「誰でもできる地震予知」
10/04	第7回理事会を開催(大阪淀川区・サムティフェイム新大阪)
11/24	日本地震学会2008年秋季大会で発表(茨城つくば市・つくば国際会議場) 「大気イオン濃度変化に見られる地震前兆現象」(大嶋宏誌・矢田直之)
12/03	藤田和夫・大阪市立大名誉教授が1日に逝去したのに際し、弘原海理事長が談話を発表
12/16	仏・独共同国営放送局 ARTE「Sentinels Animals」で弘原海理事長が地震前兆としての 宏観異常、大気イオンについて説明。同番組は米国・カナダ・スイス・ベルギーなどでも 放送
12/19	AGU 米国地球物理学連合2008年秋季大会で発表(米国サンフランシスコ・The Moscone West) 「Variation of Radioactive Atmospheric Ion Concentration Associated With Large Earthquakes」(Hattori, K, Wadatsumi, K, Furuya, R, Yada, N, Yamamoto, I, Ninagawa, K, Ideta, Y, Nishihashi, M)
01/06	読売新聞の記事「追悼抄 藤田和夫さん 活断層を研究、神戸震災を予見」で弘原海理事長 が藤田和夫・大阪市立大名誉教授との思い出を語る

(4) ウェブサイト閲覧者数記録

月	ヒット数	ユニーク数	備考
4月	207,339	41,016	
5月	2,307,332	323,630	四川大地震以降、各種報道や2ちゃんねる
6月	1,214,465	174,470	岩手・宮城内陸地震
7月	674,458	121,372	
8月	496,922	100,569	
9月	582,750	110,801	
10月	302,082	71,324	
11月	329,174	73,762	
12月	227,601	37,724	システム障害によるサーバー停止
1月	292,725	62,799	
2月	200,005	46,058	
3月	52,905	14,647	システム障害によるサーバー停止
年度計	6,887,758	1,178,172	
(参考)			
18年度計	5,360,145	665,571	
19年度計	5,447,611	800,600	

※ヒット数は閲覧総ページ数を、ユニーク数は閲覧者数を示す。

平成 20 年度特定非営利活動に係る事業会計収支決算書

(平成 20 年 4 月 1 日 から 平成 21 年 3 月 31 日 まで)

特定非営利活動法人 大気イオン地震予測研究会 e-PISCO

科 目	予算額	決算額	増▲減	備考
事業活動収支の部				
I 事業活動収入				
1 入会金収入	400,000	21,000	▲ 379,000	
・ 会員入会費				
2 会費収入				
・ 会員年会費	2,904,000	828,670	▲ 2,075,330	
3 事業収入				
・ 講演会費	1,000,000	230,700	▲ 769,300	
・ 研究会出版物等	200,000	0	▲ 200,000	
4 寄付金収入	2,500,000	6,933,219	4,433,219	弘原海清 ¥5,536,430 岡本和人 ¥1,256,746 原口竜一 ¥23,563 中村大一 ¥16,480 衛 A&A 構造研究所 ¥100,000
5 雑収入	0	120,065	120,065	
6 借入機器	—	—	—	コムシステム(株) COM-3700×6 台
事業活動収入合計	7,004,000	8,133,654	1,129,654	
前期繰越収支差額	▲ 6,824,632	▲ 6,824,632	0	
収入合計	179,368	1,309,022	1,129,654	
II 事業活動支出				
1 事業費				
・ 大気イオン濃度測定器研究開発事業	60,000	59,124	▲ 876	
・ 全国的な大気イオン濃度測定事業	10,000	29,300	19,300	
・ 測定データのオンライン収集・処理・配信事業	300,000	469,536	169,536	
・ 研究成果の普及啓発事業(講演会)	50,000	0	▲ 50,000	
・ 研究成果の普及啓発事業(出版物)	0	0	0	
2 管理費				
・ 役員報酬	0	0	0	
・ 会議費	30,000	38,629	8,629	
・ 交通費	100,000	131,901	▲ 31,901	
・ 印刷製本費	80,000	25,328	▲ 54,672	
・ 通信費	350,000	230,942	▲ 119,058	
・ 通信設備費	0	0	0	
・ 人件費	720,000	7,000	▲ 713,000	
・ 光熱費	80,000	64,072	▲ 15,928	
・ 家賃	360,000	197,400	▲ 162,600	
・ 宿泊費	30,000	4,800	▲ 25,200	
・ 雑費	80,000	35,315	▲ 44,685	
・ 予備費	20,000	0	▲ 20,000	
事業活動支出合計	2,270,000	1,293,347	▲ 976,653	
事業活動収支差額(A)	▲ 2,090,632	15,675	2,106,307	
その他収支の部				
III その他収入				
1 借入金合計	2,200,000	0	▲ 2,200,000	
2				
その他収入合計	2,200,000	0	▲ 2,200,000	
IV その他支出				
1 固定資産取得支出	0	0		
2 借入金返済支出	109,368	0	▲ 109,368	
その他支出合計	109,368	0	▲ 109,368	
その他収支差額(B)	2,309,368	0	▲ 2,309,368	
当期収支差額(A)+(B)	0	15,675	15,675	
次期繰越収支差額	0	15,675	15,675	

貸借対照表

平成 21 年 3 月 31 日 現在

(資 産 の 部)

【流 動 資 産】

現金・預金

15,675

流動資産合計

15,675

資産合計

15,675

(負 債 の 部)

【流 動 負 債】

短期借入金

0

流動負債合計

0

負債合計

0

(資 本 の 部)

【余 剰 金】

当期末処理利益

15,675

(うち当期利益)

(7,088)

余剰金合計

15,675

資本合計

15,675

負債・資本合計

15,675

財 産 目 録

平成 21 年 3 月 31 日現在

(単位:円)

特定非営利活動法人大気イオン地震予測研究会 e-PISCO

<資産の部>

現金預金 15,675

資産合計 15,675

<負債の部>

短期借入金 0

負債合計 0

差引純資産合計 15,675

利益金処理計算書

【当期末処理利益】	15,675
【次期繰越利益】	<u>15,675</u>

上記のとおりご報告申し上げます。
平成 21 年 4 月 30 日

特・大気イオン地震予測研究会
理 事 長 弘 原 海 清

監査の結果、いずれも適法かつ妥当であることを認めます。
平成 21 年 4 月 30 日

監 事 能 美 洋 介

第 2 号議案 平成 21 年度事業計画案ならびに収支予算案の承認を求める件

定款第 23 条第 4 号にもとづき、平成 21 年度事業計画案および収支予算案の承認を求めます。

事 業 計 画 書

(第 6 期)

自 平成 21 年 4 月 1 日
至 平成 22 年 3 月 31 日

特・大気イオン地震予測研究会
兵庫県川西市緑台 5-1-43

平成 21 年度事業計画書

特定非営利活動法人 大気イオン地震予測研究会 e-PISCO

1 事業実施の方針

前年度と同様の方式で、今年度も観測点をさらに増設し、観測点ネットワークを充実させる。地震発生が盛んな地域を選んで多地点観測を行い、大気イオン濃度の前兆的变化が検証可能か、また大気イオンの発生源が推定可能かどうかを検討する。その他、研究会会員には各地の測定情報及び危険推定地域の配信を行う。

普及、広報活動では、従来通りに「大気イオン地震予測法」の基礎を前年度の研究成果をふまえてまとめ、学会等で発表するとともに、研究会や市民サークル等で講演活動を行う。また、マスメディアを通じた広報活動にも務める。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施予定 日 時	実施予定 場 所	従事者の 予定人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	支 出 見 込 額 (千円)
大気イオン濃度測定器研究開発事業	環境大気中のイオン濃度を正確に測定でき、なおかつ一括送信できるシステムの改良、開発及びメンテナンス	前年度より 継続	東京都昭島市松原町及び兵庫県川西市緑台5丁目1-43	5名	大気イオン地震予測研究会に 関心のある者 不特定多数	330
全国的な大気イオン濃度測定事業	各地に設置した大気イオン濃度測定器の計測を行う	前年度より 継続	大気イオン濃度測定器設置場所	30名	大気イオン地震予測研究会に 関心があり協 力してくれる 者不特定多数	30
測定データのオンライン収集・処理・配信事業	各地の大気イオン濃度測定器データをインターネットで収集し、その測定データと前年度のデータから発生源を見極め、インターネット上で公開	前年度より 継続	大阪市西区江戸堀1丁目4-21日宝肥後橋中央ビル304号	10名	大気イオン地震予測研究会 e-PISCOの会 員およびデー タ提供を希望 する者不特定 多数	400

研究成果の普及啓発事業(大気イオン地震予測研究会 e-PISCO講演会)	大気イオンと地震との関係についてこれまでの研究成果を発表すると共に、大気イオン測定の重要性を述べ、測定器の普及に努める	前年度より継続	全国各地	15名	大気イオン地震予測研究会 e-PISCO講演参加者	0
研究成果の普及啓発事業(大気イオン地震予測研究会 e-PISCO出版物)	前年度の研究成果による「大気イオン地震予測法」の基礎をまとめ、その原理と応用のための解説書を発行する	前年度より継続	兵庫県川西市 緑台5丁目 1-43	1名	出版物(約1万部発行予定)の読者不特定多数	0

平成 21 年度特定非営利活動に係る事業会計収支予算書

(平成 21 年 4 月 1 日 から 平成 22 年 3 月 31 日 まで)

特定非営利活動法人 大気イオン地震予測研究会 e-PISCO

科 目	20 年度決算額	21 年度予算額	増▲減	備考
事業活動収支の部				
I 事業活動収入				
1 入会金収入	21,000	5,000	▲ 16,000	@1,000 円×5 人
・ 会員入会費				
2 会費収入				
・ 会員年会費	828,670	1,086,000	257,330	正会員 @5,000 円×151 人 正会員(学・65) @3,000×77 人 賛助会員 @10,000 円×10 人
3 事業収入				
・ 講演会費	230,700	150,000	▲ 80,700	
・ 研究会出版物等	0	0	0	
4 寄付金収入	6,933,219	100,000	▲ 6,833,219	
5 雑収入	120,065	0	▲ 120,065	
6 借入機器	-	-	-	コムシステム(株) COM-3700×6 台
事業活動収入合計	8,133,654	1,341,000	▲ 6,792,654	
前期繰越収支差額	▲ 6,824,632	15,675	6,840,307	
収入合計	1,309,022	1,356,675	47,653	
II 事業活動支出				
1 事業費				
・ 大気イオン濃度測定器研究開発事業	59,124	330,000	270,876	保守費 @55,000 円×6 台
・ 全国的な大気イオン濃度測定事業	29,300	30,000	700	
・ 測定データのオンライン収集・処理・配信事業	469,536	400,000	▲ 69,536	
・ 研究成果の普及啓発事業(講演会)	0	0	0	
・ 研究成果の普及啓発事業(出版物)	0	0	0	
2 管理費				
・ 役員報酬	0	0	0	
・ 会議費	38,629	30,000	▲ 8,629	
・ 交通費	131,901	100,000	▲ 31,901	
・ 印刷製本費	25,328	50,000	24,672	
・ 通信費	230,942	250,000	19,058	
・ 通信設備費	0	0	0	
・ 人件費	7,000	30,000	23,000	
・ 光熱費	64,072	0	▲ 64,072	
・ 家賃	197,400	0	▲ 197,400	
・ 宿泊費	4,800	0	▲ 4,800	
・ 雑費	35,315	30,000	▲ 5,315	
・ 予備費	0	106,675	106,675	
事業活動支出合計	1,293,347	1,356,675	63,328	
事業活動収支差額(A)	15,675	0	▲ 15,675	
その他収支の部				
III その他収入				
1 借入金合計	0	0	0	
2				
その他収入合計	0	0	0	
IV その他支出				
1 固定資産取得支出	0	0	0	
2 借入金返済支出	0	0	0	
その他支出合計	0	0	0	
その他収支差額(B)	0	0	0	
当期収支差額(A)+(B)	15,675	0	▲ 15,675	
次期繰越収支差額	15,675	0	▲ 15,675	